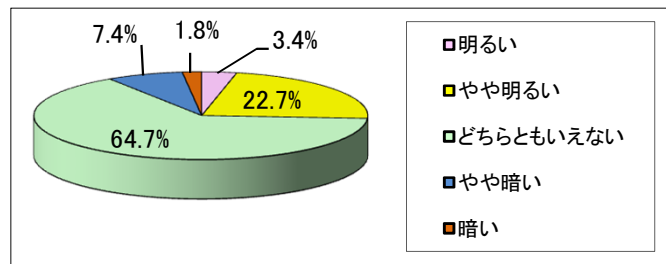


特別調査「中小企業の3～5年後の事業の見通しについて」

問1 貴社では、3～5年後の自社の事業をどのように見通していますか。次の1～5の中から1つ選んでお答えください。

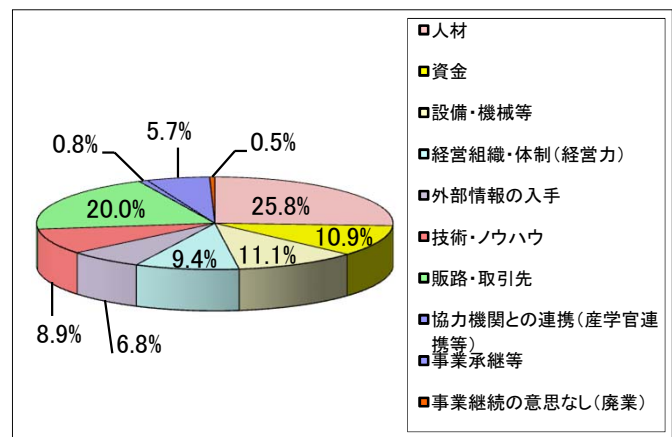
1. 明るい
2. やや明るい
3. どちらともいえない
4. やや暗い
5. 暗い



3～5年後の自社の事業をどのように見通しているかについて、最も多い回答は「どちらともいえない」64.7%、次いで「やや明るい」22.7%という結果になりました。

問2 貴社では、3～5年後に向けて安定した事業を続けるために重視する事柄について、どのようにお考えですか。以下の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。

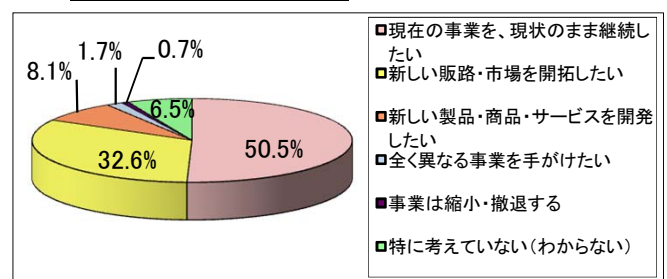
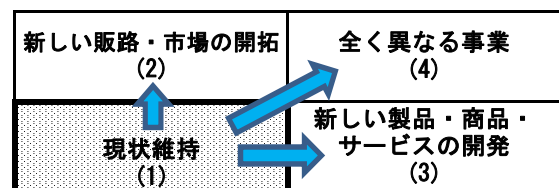
1. 人材
2. 資金
3. 設備・機械等
4. 経営組織・体制（経営力）
5. 外部情報の入手
6. 技術・ノウハウ
7. 販路・取引先
8. 協力機関との連携（産学官連携等）
9. 事業承継等
0. 事業継続の意思なし（廃業）



3～5年後に向けて安定した事業を続けるために重視する事柄について、最も多い回答は「人材」25.8%、次いで「販路・取引先」20.0%、次に「設備・機械等」11.1%という結果になりました。

問3 貴社では、3～5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいとお考えですか。下の図も参考に、以下の1～6のなかから、最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

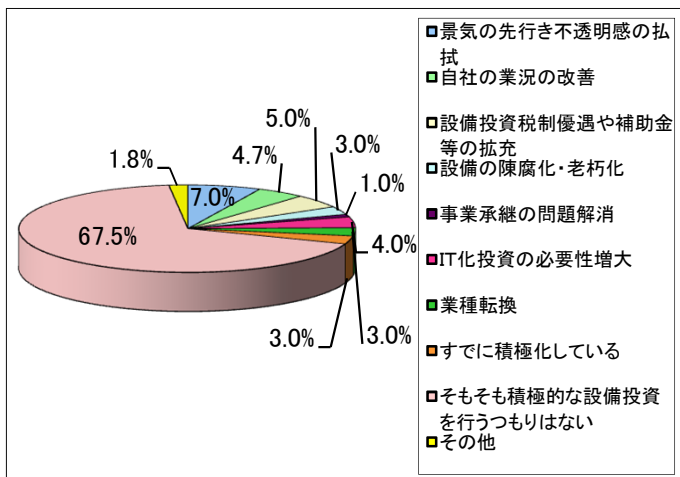
1. 現在の事業を、現状のまま継続したい
2. 新しい販路・市場を開拓したい
3. 新しい製品・商品・サービスを開発したい
4. 全く異なる事業を手がけたい
5. 事業は縮小・撤退する
6. 特に考えていない（わからない）



3～5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいと考えているかについて、最も多い回答は「現在の事業を、現状のまま維持したい」50.5%、次いで「新しい販路・市場を開拓したい」32.6%という結果になりました。

問4 貴社では、3～5年後に向けて安定した事業を続けるために、どのような状況になれば積極的な設備投資を開始しますか。次の1～0の中から1つ選んでお答えください。

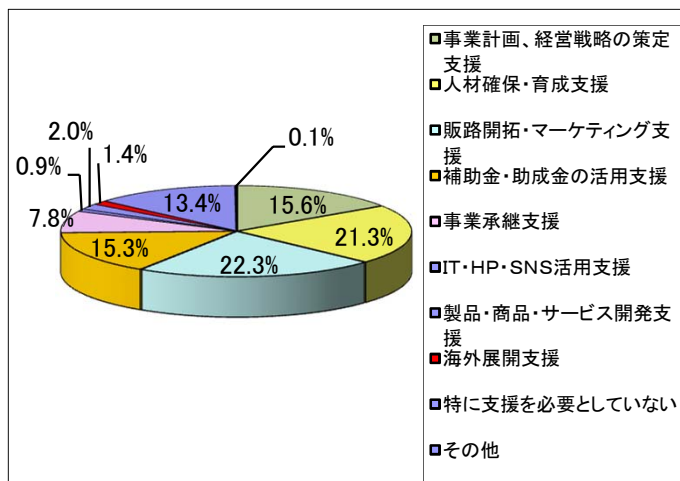
1. 景気の先行き不透明感の払拭
2. 自社の業況の改善
3. 設備投資税制優遇や補助金等の拡充
4. 設備の陳腐化・老朽化
5. 事業承継の問題解消
6. IT化投資の必要性増大
7. 業種転換
8. すでに積極化している
9. そもそも積極的な設備投資を行うつもりはない
0. その他



3～5年後に向けて安定した事業を続けるために、どのような状況になれば積極的な設備投資を開始するかについて、最も多い回答は「そもそも積極的な設備投資を行うつもりはない」67.5%、次いで「景気の先行き不透明感の払拭」7.0%という結果になりました。

問5 貴社では、3～5年後の事業の継続・発展へ向けて、公的機関、商工会議所、商工会、金融機関等の経営相談窓口からどのような支援を受けたいですか。以下の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。

1. 事業計画、経営戦略の策定支援
2. 人材確保・育成支援
3. 販路開拓・マーケティング支援
4. 補助金・助成金の活用支援
5. 事業承継支援
6. IT・HP・SNS活用支援
7. 製品・商品・サービス開発支援
8. 海外展開支援
9. 特に支援を必要としていない
0. その他



3～5年後の事業の継続・発展へ向けて、公的機関、商工会議所、商工会、金融機関等の経営相談窓口からどのような支援を受けたいかについて、最も多い回答は「販路開拓・マーケティング支援」22.3%、次いで「人材確保・育成支援」21.3%という結果になりました。